



全国から会員、来賓158人が出席して開かれた定時社員総会

## ◇第74回通常総会スローガン◇

日本新聞販売協会 岩城善之会長・東京・朝日、の第74回定時社員総会が7月30日、東京・ソラシティホールで開かれ、全国から会員・来賓ら150人が出席した。岩城会長はあいさつの中で「休刊日はスローガンにある通り2月2回の実現を標ぼうさせていたいた」と改めて月2回の休刊日を求めしていく考えを示した。その理由として特に山間地域の販売店では地域事情や人手の問題で休刊日しか休みがないこと、来年には労働基準法が改正され連続勤務日数が13日までとなることなどを挙げた。一方で、「全国の販売店網をこれ以上疲弊させない」、新聞販売所で労基法違反を発生させない」と訴えた。議事では2024年度の事業計画、同年度決算関連事項が承認されたほか、役員候補5氏が選任された。また、当月は「日本新聞販売協会賞」の授賞式が行われ、岩城会長から記念の盾が贈呈された。

戸別配達網を疲弊させない

## 第74回定期 社員総会

日販協月報

公益社団法人  
日本新聞販売協会  
東京都中央区銀座1-24-1  
銀一パークビル6階  
電話 03(3538)3031番  
FAX 03(3538)3032番  
URL <http://nippankyo.or.jp>  
Eメール  
[info@nippankyo.or.jp](mailto:info@nippankyo.or.jp)

一、世界に認める配分制度を堅持しが國の政治・經濟文化の發展と民主主義の擁護に貢献する  
二、新聞の持つ公眾性に基づき公正な販売を期す  
三、新聞販売店共通の目的である經營の健全化を追求する

一方、優先課題とした労務問題については、「生産命にかかる熱中症対策について、日本新聞協会

詰される連続勤務日数が40日から13日に短縮されることが見込まれている」と指摘。そのうえで「新聞に再販制度、消費

# 2025年度日販協役員等

感持しがるが、政治・経済、  
護に貢献する  
公正な販売を期す  
る経営の健全化を追求する  
さて、参院選に向け  
て選挙権を持つ18歳以上の  
の生徒が、今高校3年生  
のクラスに複数紙の新聞  
を届けた。新聞を読んで  
選舉に行こう。キャンペー  
ンについて報告。「対  
象のクラスは1-1-3クラス  
で、生徒数は274人、6名」と  
6名)だった。このキャンペー  
ンで新聞に触れた  
生徒は、冷然に将来を見  
据えて投票先を考えてい  
るものと思っている。  
アンケートも実施した。  
まだ集計途中ではある  
が、現時投票の生徒  
が、新聞が参考になった  
と答えた。選挙権のある  
生徒の投票率は約75%に  
上り、総務省が発表した  
18歳から19歳の投票率42  
%と比較しても高い投票  
率となつた。新聞を読む  
ことで社会への関心が高  
まつたられる」と成  
果を強調し、今後も国政  
選舉に際して同様のキャ  
ンペーンを發起したいと  
の意向を示した。「すべ  
ての教室へ新聞を」運動  
について述べた。来年度の新  
学期めどに学校での有効  
活用を前提とした運用に  
転換したいとしたうえ  
で、「地道ではあるが、  
今後も若い世代への新聞  
に接觸する機会を増やす  
活動を大切にしていきた

税率減税率が認められてゐるのは、全国津々浦々、日々新聞を届ける公益性あるその根幹である全くの別配達網をこれ以て疲弊させないため、新聞販売所で労基法違反を認められているからである。そこで、新聞社は「新聞に再版制度」を設けたのである。4月から13日は短縮営業であるが、この期間は休刊日実現を目指して「休刊日の設定が難しくていい」と強調した。さらに「休刊日の設定は各新聞社の経営判断によることは承知している。仮に休刊日の増設が難しい場合においても、各新聞社の配達網においてコンライアンス違反が発生しないよう十分な対応をお願いする」と発行本社に配慮を求めていた。

議事は高木副会長を議長に選び、決議事項、報官事項の順に進めた。

2024年度事業報告書承認の件、2024年度監査報告の件、新理事選任の件、定款改正の件、合議案を原案通り承認し、24年度の事業について岩城会長は、①新聞の普及に向けた改善に関する事業③新聞戸別配達網の維持・向上に関する事業へつづく

長岩城善	東京朝日	理事	森下哲也(関東朝日)
高木康夫	東・読売	齋藤逸朗	関東・読売
阿部正一	岡東・毎日	木戸信輔	関東・新潟
市田和則	北海道・朝日	江崎晴城	東・毎日
野田猛徳	(多摩朝日)	丸山修	東京・日経
村山祐作	(中部・毎日)	岩田達承	(近畿・朝日)
高橋富治	(北陸・読売)	大塚玲	(近畿・日経)
辻昭彦	(近畿・京都在)	保田満範	(近畿・讀経)
竹本博	(中国・読売)	畠善	(近畿・神戸)
三木直人	(四国・毎日)	佐藤尚司	(中国・山陽)
斉藤秀治	(九州・読売)	佐藤重穂	(九州・西日本)
廣地進	(関東・朝日)	小関公久	(九州・読売)
笠原淳	(岡東・産経)	竹下学	(九州・読売)
中西啓一	(東京・産経)	小野政樹	(九州・毎日)
前田賢一	(岡東・読売)	澤田明雄	(東京・産経)
佐藤和昭	(東京・東京)	監事	佐藤尚司(中国・山陽)
堀井貴男	(関東・東海)	坂本	細谷和広
櫻井青磁	(多摩・読売)	相談役	(多摩・毎日)
柏原亮介	(多摩・産経)	河邑康緒	(東京・毎日)
仙波聰典	(多摩・産経)	志村榮三郎	(東京・朝日)
小西康弘	(近畿・読売)	國吉延	(東京・読売)
真辯謙司	(近畿・毎日)	本橋常彦	(東京・朝日)
事務局	佐藤茂雄(東北・読売)	山下正美	(美濃理士)
大竹	隆(東北・朝日)	顧問	間山崎俊之(弁護士)
佐藤茂雄	(東北・毎日)		



## 岩城会三昧あいさつ

新潟県議会で開催された岩城会の総会にて、阿部正一副会長が閉会挨拶を述べた。阿部正一は、「この歴史的な選挙が過半数の届かないところでは、衆院選で統合候補が勝利した」と述べ、今後は「国内政治も従来とは異なる政情が複雑となる中、新聞を読む選挙に行きたい」と述べた。

新理事は、▽村山祐作(務理事)・中部地区本部長、愛知・毎日▽佐藤茂雄(福島・毎日)▽壽克史奈良・朝日▽佐藤尚司(日販協福岡支部長)・岡山・山陽▽小畠重穂(西日本)の5氏。阿部正一副会長が閉会挨拶を述べて総会を終え、引き続き、高木副会長が総会を開催した。

の事業について報告した。新理事は、▽村山祐作(務理事)・中部地区本部長、愛知・毎日▽佐藤茂雄(福島・毎日)▽壽克史奈良・朝日▽佐藤尚司(日販協福岡支部長)・岡山・山陽▽小畠重穂(西日本)の5氏。阿部正一副会長が閉会挨拶を述べて総会を終え、引き続き、高木副会長が総会を開催した。

の事業について報告した。



# 2024年度 收支決算

正味財産増減計算書内訳表

2024年7月1日から2025年6月30日まで

### 貸借対照表

2025年6月30日現在

2015年6月30日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	
			減 増
I. 資本の部			
1. 流動資本			
預託金	21,442,551	11,933,260	9,509,291
未収会員料会費	4,270,400	5,264,000	△ 933,600
未収会員料会員費	0	0	61,800
未収月会会員費	34,400	39,200	△ 4,800
未収会員料会員費	60,000	87,500	△ 27,500
未収会員料会員費	450,000	0	450,000
定期預金	357,883	3,400,444	△ 3,042,557
流動資本合計	26,637,038	20,713,413	5,927,625
2. 固定資本			
(1) 基本財産			
定益会員 三井住友銀行	10,510,000	10,510,000	0
基本財産合計	10,510,000	10,510,000	0
(2) 特別賃貸			
退職給付引当金	11,400,000	11,040,000	360,000
年間保底預金	0	25,000,000	△ 26,000,000
事業用預金	10,000,000	3,000,000	5,000,000
預託金会員費	10,000,000	- 10,000,000	0
運営費会員費	1,500,000	1,500,000	0
特許権会員費	32,930,000	53,540,000	△ 20,632,000
(3) その他固定資本			
粗利加入権	120,000	120,000	0
ソフトウェア	323,350	514,150	△ 180,790
敷金	2,185,620	1,839,600	△ 346,020
その他の固定資本合計	2,286,850	2,473,850	△ 187,000
固定資本合計	45,704,850	65,523,850	△ 20,819,000
資本合計	72,331,888	87,299,263	△ 14,916,375
II. 純資本の部			
1. 満期償還			
積入金	1,659,800	1,881,700	△ 219,900
預り金	530,215	610,010	△ 78,795
源泉所得税等	2,190,115	2,471,710	△ 281,595
清算金合計			
初期始動引当金	11,408,000	11,040,000	368,000
固定負担会員費	11,408,000	11,049,000	368,000
負担金合計	13,598,915	13,911,710	95,795
2. 預り金			
預り金合計			
III. 並立計算の部			
1. 振替会員料会員費			
振替会員料会員費合計	10,000,000	10,000,000	0
(うち支払会員料の当期額)	(10,000,000)	(10,000,000)	△ 18,002,000
(うち支払会員料の先端額)	48,733,773	63,884,553	△ 15,150,780
(うち支払会員料の先端額)	(10,510,000)	(10,510,000)	△ 15,000,000
(うち支払会員料の先端額)	58,733,773	72,188,553	△ 15,002,780
正規会員料合計	32,851,918	32,298,283	△ 14,918,635

図表1：会員登録に求められる運営対応保有額項目に合致させるため預金高のうち500万円を既保有として計

### 正味財產增減計算表

2024年7月1日から2025年6月30日まで

当年度 前年度

注記1：賃貸面積は本部と上部賃貸面積、事務委託費。

注記1 関東圏区本部より家賃分担金、手数料などを  
注記2 家賃経費（しんぶん配達の日本スター製作）195,800円、レンタルバイクステッカー製作費30,250円等

# 2025年度 收支予算

### 正味財產增減予算書

2025年7月1日から2026年6月30日まで

西游记·卷之三·第十一回

2025年7月1日から2026年6月30日まで

正味財産期末残高  
＊：申請による個別割合

注：内閣府定額検定（H28.10.26）指摘による割合の変更  
は20%未満の法人・10%法人の割合

## 暑中お見舞い申し上げます

柳原正典	佐熊龍治	鵜川勝利	角田克	中村史郎	村岡彰敏	山口寿一
執日本経済新聞員社 アリテラス三役長員社 ニニアード長員社	日本経済新聞員社 エリテラス三役長員社 ニニアード長員社	毎日新聞販売担当社	朝日新聞取締役会長社	朝日新聞取締役会長社	読売新聞東京本社 代表取締役社長	一般社団法人北海道販賣會 会長廣田弘
阿部正一	会長丸山修	東京都連合会	毎日新聞東京懇話会	毎日新聞東京懇話会	対馬章一	北海道連合販賣會 会長廣地進
副公益社団法人日本新聞販売協会 関東地区本部長 新川大原ビル二階	会長安島一男	都内東京会	会長宮井良繼	会長坂田一郎	FAX 06-0041-5523 TEL 06-0041-5523 （一社）北海道連合販賣會 連合会長	会長廣地進
木戸信輔	金子正人	千葉県新聞販売組合 会長新潟県新聞販売組合 組合長	柏原亮介	野田猛徳	桜井青磁	多摩新聞販売同業組合 所長ASA春日部
電話○五八九一〇四九 木戸千刈一七一九	〒310-0013 水戸市中央二一八一八 電話○五九二三三一七七四四	〒260-0013 千葉市中央四一四一〇 電話○四八一三七一〇〇七七	〒330-0063 千葉県新聞販売組合 組合長	〒231-0011 横浜市中区太田町二一二三 電話○四八一六八一〇一〇二四	〒223-0061 横浜市北区若狭七一三二二 電話○四五五五六一三八八九	京浜新聞販売組合 組合長
江崎晴城	外山雅通	静岡県新聞販売連合会 会長新潟県新聞販売組合 組合長	前田賢一	笠原淳一	幹事長佐藤浩一	北海道毎日会 会長笠島義孝
電話○五八九一〇七二 江崎晴城	〒436-0056 静岡市中央二十一二 電話○三七一四一四二	〒387-0001 長野県千曲市南宮一〇五 電話○二七一三七一六〇九	ASA白根 所長	YCA前橋中央 所長	東京連合産經会出向 電話○四八一七一六八〇六	ASA春日部
相談役山本明伸	監事安藤清一 瀬谷一世	日本新聞販売協会 会長東地区本部常任相談役	前田賢一 安藤清一	本部長阿部正一 本部長谷津芳男 副本部長渋谷俊郎	会計監査黒沼真 会計監査山崎和男 監事奥田康二 小田佳輝	日本新聞販売協会 会長笠島義孝
事務局渡辺精一	会計佐久木 会計佐久木	日本新聞販売協会 会長東地区本部常任相談役	常任理事廣地進 前田賢一 笠原淳一 三宅一秀 大竹隆 大竹	本部長阿部正一 本部長谷津芳男 副本部長渋谷俊郎	会計監査黒沼真 会計監査山崎和男 監事奥田康二 小田佳輝	日本新聞販売協会 会長笠島義孝
理事長五味晃	山梨県新聞販売商業協同組合 会長山梨県新聞販売商業協同組合 会長五味晃	東京都ASA連合会会長 石川俊幸	高橋富治	日本新聞販売協会 会長笠島義孝	日本新聞販売協会 会長笠島義孝	日本新聞販売協会 会長笠島義孝
本橋常彦	相談役 公益社団法人日本新聞販賣協會 本橋常彦	國吉延男	河邑康緒	日本新聞販賣協會 会長志村榮三郎	日本新聞販賣協會 会長志村榮三郎	日本新聞販賣協會 会長坂本收

# 暑中お見舞い申し上げます

# 「すべ教」運動を推進

「未来読者の獲得は必須」

北海道本部会



あいさつする市田本部長

無読の若年層対策に力を入れた活動を進めていく」と語った。続けて、「今月に参議院選挙がある18歳を通過した高校3年生も投票する。北海道内20~8校中、配達を希望された67校へ公示の7月3日から2週間にわたり新聞の配達を行っている。販売店の皆様の協力で、運動の附帯事業「新聞を読んで選舉に行こうキヤンペーン」、日本新聞協会が策定した「災害時等の新聞販売所行動マニュアル」への熱意が高まっているので、どの政党がイニシアチブをとったとしても高い水準で来賓あいさつに移り、来賓あいさつに移り、この後、市田本部長は決算報告・予算報告・役員人事報告を行った。それを受けた。承認を受けた。

最初に日本新聞販売協会の岩城善之会長が登壇。これまで各党が政策でのぎ事案で亡くなつた新聞配達の佐藤研樹さんへ哀悼を表した。続けて参議院選挙に触れ、「参議院選挙に触れる」(参議院選挙に触れる)と述べた。

岩城会長は大躍進理事の総会は大躍進理事の耳にする。また、各種法令の改正による課題もある。特に最低賃金改定で配達スタッフの賃金が上がることで、その地域においても変化に応じた姿勢が求められるだらう」と厳しく現状を指摘した。

続いて井置康人朝日新聞東京本社取扱部長が登壇。休刊日の月2回の増設へ協力力を改めてお話を申し上げると、「すべての教室へ配達を維持するため、新聞を運搬を通じて働きかけなどの取り組みを説明した。

次いで井置康人朝日新聞東京本社取扱部長代理渡辺義宏北海道新聞社販売局次長林が登壇。休刊日の月2回の増設へ働きかけなどの取り組みを説明した。

井置康人朝日新聞東京本社取扱部長代理渡辺義宏北海道新聞社販売局次長林が登壇。休刊日の月2回の増設へ働きかけなどの取り組みを説明した。

井置康人朝日新聞東京本社取扱部長代理渡辺義宏北海道新聞社販売局次長林が登壇。休刊日の月2回の増設へ働きかけなどの取り組みを説明した。

井置康人朝日新聞東京本社取扱部長代理渡辺義宏北海道新聞社販売局次長林が登壇。休刊日の月2回の増設へ働きかけなどの取り組みを説明した。

井置康人朝日新聞東京本社取扱部長代理渡辺義宏北海道新聞社販売局次長林が登壇。休刊日の月2回の増設へ働きかけなどの取り組みを説明した。

井置康人朝日新聞東京本社取扱部長代理渡辺義宏北海道新聞社販売局次長林が登壇。休刊日の月2回の増設へ働きかけなどの取り組みを説明した。

ところである」と販売店に係る財務問題に言及した。引き続き、岩城会長は「新聞を読んで選舉に行こうキヤンペーン」、日本新聞協会が策定した「災害時等の新聞販売所行動マニュアル」への熱意が高まっているので、どの政党がイニシアチブをとったとしても高い水準で来賓あいさつに移り、来賓あいさつに移り、この後、市田本部長は決算報告・予算報告・役員人事報告を行った。それを受けた。承認を受けた。

最初に日本新聞販売協会の岩城善之会長が登壇。これまで各党が政策でのぎ事案で亡くなつた新聞配達の佐藤研樹さんへ哀悼を表した。続けて参議院選挙に觸れる参議院選挙に触れる

井置康人朝日新聞東京本社取扱部長代理渡辺義宏北海道新聞社販売局次長林が登壇。休刊日の月2回の増設へ働きかけなどの取り組みを説明した。

井置康人朝日新聞東京本社取扱部長代理渡辺義宏北海道新聞社販売局次長林が登壇。休刊日の月2回の増設へ働きかけなどの取り組みを説明した。

井置康人朝日新聞東京本社取扱部長代理渡辺義宏北海道新聞社販売局次長林が登壇。休刊日の月2回の増設へ働きかけなどの取り組みを説明した。

井置康人朝日新聞東京本社取扱部長代理渡辺義宏北海道新聞社販売局次長林が登壇。休刊日の月2回の増設へ働きかけなどの取り組みを説明した。

井置康人朝日新聞東京本社取扱部長代理渡辺義宏北海道新聞社販売局次長林が登壇。休刊日の月2回の増設へ働きかけなどの取り組みを説明した。

## 熱中症対策を追加

日本新聞販売協会北海道本部会長の市田和則本部長の2025年度総会が7月6日、札幌市中央区の「京王プラザホテル札幌」で開催された。総会は大躍進理事の会進行で、市田本部長があいさつに立ち、「私が本部長に着任して1年たち、新聞業界に関する現状を多方面からお聞きする機会が増えた。新聞離別の傾向、無読の増加などはいろいろな場面で新聞を運搬する姿勢が求められるだらう」と厳しく現状を指摘した。

また、近年の猛暑が北海道にも及んだことに對し、「今年の夏も猛暑が続いている。全国的に30度を迎える日が多くなっている。このような現場で働く労働者たちの健康管

日本新聞販売協会東京本部会長の佐藤研樹は、「今年の夏も猛暑が続く」と厳しい現状を指摘した。

佐藤研樹は、「今年の夏も猛暑が続く」と厳しい現状を指摘した。

佐藤研樹は、「今年の夏も猛暑が続く」と厳しい現状を指摘した。

佐藤研樹は、「今年の夏も猛暑が続く」と厳しい現状を指摘した。

佐藤研樹は、「今年の夏も猛暑が続く」と厳しい現状を指摘した。

佐藤研樹は、「今年の夏も猛暑が続く」と厳しい現状を指摘した。

佐藤研樹は、「今年の夏も猛暑が続く」と厳しい現状を指摘した。

委員会

販売

会

委員会

「すべての教室へ新聞を」運動実施状況  
(2025年4月現在)

公益社団法人日本新聞販売協会

地 区	( ) はクラス [ ] は提供部数
北海道地区	
札幌市	小学1[12] 中学2[22] 高校2[54]
東北地区	
青森県・青森市	高校1[9]
青森県・八戸市	中学1[7] 高校1[7]
青森県・おいらせ町	高校1[6]
青森県・三沢市	小学1[4]
宮城県・仙台市	小学1[3] 中学4[46]
宮城県・多賀城市	中学4[44]
宮城県・石巻市	小学15[81] 中学9[86] 高校6[89]
宮城県・塩釜市	中学5[38]
宮城県・白石市	小学5[27] 中学4[48]
関東地区	
千葉県・市川市	小学38[389] 中学16[307] 高校3[69] 支援校2[23]
千葉県・浦安市	小学17[382] 中学9[274] 支援校2[5]
千葉県・船橋市	小学54[581] 中学27[460] 高校1[31] 支援校2[4]
埼玉県・川口市	小学2[2] 中学2[6] 高校4[10]
埼玉県・蕨市	高校1[11]
埼玉県・志木市	高校1[21]
埼玉県・熊谷市	小学3[604]
埼玉県・朝霞市	高校2[48]
埼玉県・和光市	高校2[44]
埼玉県・新座市	小学3[30]
埼玉県・所沢市	小学1[8] 中学1[19] 高校2[46]
埼玉県・坂戸市	小学12[120] 中学7[267] 高校2[216] 支援校1[40]
埼玉県・八潮市	高校2[32]
埼玉県・草加市	高校2[30]
埼玉県・春日部市	高校3[196]
埼玉県・越谷市	高校1[30]
埼玉県・松伏町	高校1[7]
埼玉県・白岡市	高校1[5]
埼玉県・久喜市	小学6[25] 中学4[48] 高校2[22]
埼玉県・行田市	小学11[60] 中学7[65]
茨城県・つくばみらい市	小学3[24] 中学1[6]
茨城県・常陸太田市	中学8[36] 高校2[24]
茨城県・つくば市	中学18[201]
茨城県・鹿嶋市	高校1[27]
茨城県・那珂市	高校1[12]
茨城県・常陸大宮市	高校1[12]
茨城県・桜川市	高校1[6]
茨城県・水戸市	高校1[17]
茨城県・筑西市	高校2[21]
茨城県・ひたちなか市	高校1[3]
栃木県・宇都宮市	小学3[27] 中学2[20] 高校2[70]
栃木県・小山市	小学9[114] 中学2[9] 高校1[51]
栃木県・下野市	小学2[35] 中学1[26] 高校1[24]
栃木県・鹿沼市	高校1[26]
栃木県・栃木市	小学1[1] 中学6[164]
栃木県・那須塩原市	中学1[3]
栃木県・真岡市	高校1[22]
栃木県・日光市	高校1[2]
栃木県・大田原市	高校1[12]
栃木県・壬生町	中学1[17]
栃木県・上三川町	中学1[39]
新潟県・新潟市	小学9[82] 中学8[93] 高校1[82]
新潟県・新発田市	小学1[1] 中学8[69] 高校4[47]
新潟県・長岡市	小学4[33] 中学6[54] 高校1[16]
新潟県・上越市	中学3[19] 高校1[1]
新潟県・村上市	高校1[7]
新潟県・柏崎市	中学1[3]
新潟県・燕市	高校1[24]
新潟県・小千谷市	中学1[2]
新潟県・糸魚川市	小学1[2] 高校1[2]
新潟県・胎内市	小学1[4]

新潟県・出雲崎町	中学1[1]	三重県	中学4[4] 高校5[8]
<b>近畿地区</b>			
長野県・安曇野市	小学1[4] 中学1[5]	大阪府・大阪市	小学2[8]
長野県・松本市	小学1[3] 中学1[5] 高校1[6]	大阪府・東大阪市	小学1[10] 中学3[920]
長野県・中野市	中学3[18]	大阪府・枚方市	小学19[105] 中学44[49]
長野県・長野市	小学1[3]	大阪府・高槻市	小学20[20] 中学9[8] 高校3[5]
長野県・上田市	中学1[5]	大阪府・箕面市	小学3[36] 中学1[28] その他2
長野県・北安曇郡	中学1[4]	大阪府・摂津市	小学1[5] 中学1[7] その他3
長野県・東御市	中学1[5]	大阪府・吹田市	小学1[3]
山梨県・上野原市	中学3[3]	大阪府・茨木市	中学1[2] 高校1[2]
静岡県・静岡市葵区	中学1[2]	大阪府・池田市	小学2[26] 中学5[41]
静岡県・裾野市	中学5[55]	大阪府・羽曳野市	小学4[12]
静岡県・富士宮市	高校3[120]	大阪府・守口市	小学1[1]
静岡県・三島市	中学3[155] 高校2[124]	大阪府・阪南市	小学6[40] 中学2[31]
静岡県・沼津市	中学1[10]	大阪府・能勢町	小学4[15]
静岡県・伊豆の国市	中学3[46]	兵庫県・姫路市	小学11[51] 中学17[88] 高校8[39]
静岡県・御殿場市	中学6[115] 高校3[70]	兵庫県・神戸市	小学3[5] 中学2[4] 高校1[1]
静岡県・賀茂郡	小学1[10] 中学1[8]	兵庫県・宝塚市	高校2[11]
静岡県・掛川市	中学2[24]	兵庫県・西宮市	高校2[25]
静岡県・藤枝市	小学7[7] 中学4[9] 高校3[19]	兵庫県・明石市	小学24[65] 中学3[54]
静岡県・川根本町	小学3[17] 中学1[3] 高校1[9]	兵庫県・高砂市	小学8[70] 中学7[81]
静岡県・吉田町	小学3[19] 中学1[27]	兵庫県・西脇市	小学9[22] 中学4[35]
<b>東京地区</b>			
葛飾区	小学12[130] 中学6[113] 高校1[25]	兵庫県・加古川市	小学9[45] 中学3[4] 高校4[29]
練馬区	小学13[56] 中学5[65]	兵庫県・相生市	高校1[4]
港区	小学18[319] 中学10[462]	兵庫県・たつの市	小学6[12] 中学2[5] 高校1[1] 支援校1[1]
北区	小学33[793] 中学12[328]	兵庫県・穴粟市	中学3[13]
大田区	小学59[708] 中学28[336]	兵庫県・神崎郡神河町	高校1[6]
文京区	小学20[50] 中学10[184]	兵庫県・赤穂郡上郡町	高校1[3]
新宿区	小学28[61] 中学10[34]	兵庫県・佐用郡佐用町	小学4[4] 中学1[1]
足立区	小学67[67] 中学35[35] 高校8[46]	兵庫県・豊岡市	小学1[30]
荒川区	小学24[309] 中学10[102]	兵庫県・洲本市	小学2[12] 中学2[23]
江東区	小学1[2] 高校1[1]	京都府・京都市	高校2[46]
中央区	中学4[84] 中学5[21]	京都府・与謝郡与謝野町	高校1[9]
<b>多摩神奈川地区</b>			
東京都・小金井市	小学7[50] 中学5[60]	奈良県・御所市	中学1[1] 高校2[4]
東京都・国分寺市	小学6[18] 中学17[17]	奈良県・平群町	中学1[1]
東京都・西東京市	小学8[76] 中学3[21]	滋賀県・大津市	小学32[301] 中学14[254]
東京都・小平市	小学1[3]	滋賀県・東近江市	小学5[18]
東京都・八王子市	小学27[171] 中学8[80]	和歌山県・和歌山市	小学52[171] 中学17[70] 高校1[8]
東京都・町田市	小学25[140] 中学13[147]	和歌山県・海南市	中学4[36]
東京都・東久留米市	小学3[9] 中学7[50]	和歌山県・湯浅町	小学4[5] 中学1[1]
東京都・調布市	中学1[4]	和歌山県・みなべ町	小学5[15] 中学3[12]
東京都・狛江市	小学11[39] 中学7[34]	和歌山県・田辺市	中学7[66]
東京都・府中市	小学4[13] 中学2[7]	和歌山県・白浜町	中学2[2]
東京都・東村山市	小学8[24] 中学4[12]	和歌山県・御坊市	小学13[30] 中学6[25]
東京都・武藏村山市	小学4[3] 中学2[5]	<b>中国地区</b>	
東京都・立川市	小学20[34] 中学17[52]	広島県・広島市・東広島市	小学25[325] 中学13[288]
東京都・昭島市	小学3[7] 中学1[3]	<b>九州地区</b>	
東京都・福生市	小学4[8] 中学1[4]	福岡県	小学11[92] 中学5[98]
東京都・青梅市	小学13[80] 中学9[45]	山口県・宇部市	小学5[18] 中学2[149]
神奈川県・横浜市	中学95[570]	山口県・山口市	小学15[60] 中学18[150] 高校5[109]
神奈川県・川崎市	中学49[244]	山口県・萩市	小学2[6] 中学5[36]
神奈川県・横須賀市	小学36[216] 中学37[222] 高校1[6]	山口県・岩国市	小学10[37] 中学4[22]
神奈川県・三浦市	小学8[48] 中学3[18]	山口県・柳井市	高校1[14]
神奈川県・小田原市	小学25[150] 中学2[72]	山口県・下関市	小学4[30] 中学4[64]
神奈川県・蘇ズ市	中学19[114]	山口県・長門市	小学6[57] 中学3[39]
神奈川県・綾瀬市	中学5[30]	山口県・田布施町	小学4[11] 中学1[1] 高校1[12]
神奈川県・平塚市	小学5[20] 中学15[90]	山口県・周防大島町	小学3[4]
神奈川県・葉山町	小学4[24] 中学2[12]	長崎県・東彼杵郡	小学1[6] 支援校1[6]
神奈川県・逗子市	小学4[24] 中学3[18]	長崎県・松浦市	中学3[6]
神奈川県・厚木市	小学23[138] 中学3[78]	長崎県・諫早市	高校1[6]
神奈川県・相模原市	小学72[288] 中学37[148]	長崎県・佐世保市	小学3[3] 中学3[3]
神奈川県・横浜市戸塚区	中学10[59]	<b>内 計</b>	
神奈川県・横浜市旭区	中学2[12]	小学校	1,204校
神奈川県・横浜市瀬谷区	中学1[6]	中学校	1,045校
神奈川県・横浜市金沢区	中学5[24]	高校	184校
神奈川県・横浜市泉区	中学2[11]	支援校	9校
神奈川県・横浜市栄区	中学2[11]	合計	2,442校
<b>中部地区</b>			
愛知県	小学42[97] 中学54[104] 高校40[90]	<b>※日版協組織内調べ</b>	
岐阜県	中学2[2] 高校5[5]	<b>※2024年4月調査: 2,390校</b>	
新潟県・長岡市	中学1[2]	<b>※小中一貫校は中学に含む</b>	
新潟県・糸魚川市	小学1[2]	<b>※中高一貫校、高専は高校に含む</b>	